がんばろう南房総

南房総のいぶし

［発行］
南房総教育事務所
令和８年９月２日
第 １０ 号
文責　技術・家庭科担当

地方中学校技術・家庭科実技研修会

各地区の技術教育センターを会場に、地区中学校技術・家庭科実技研修会を２日間の日程で開催し、各中学校の技術・家庭科担当教員が参加しました。

実技研修会では、専門的な知識や技能への理解を深めるとともに、参加者同士の情報交換や実践交流を行いました。また、各技術教育センターでは、県中学校技術・家庭科研修の内容に加え、各地区の課題や次期学習指導要領の動向を踏まえた研修が企画・運営されていたため、多くの学びや気付きを得ることができ、技術・家庭科教育の充実と指導力向上につながる有意義な研修会となりました。

☆地方中学校技術・家庭科研修の内容☆

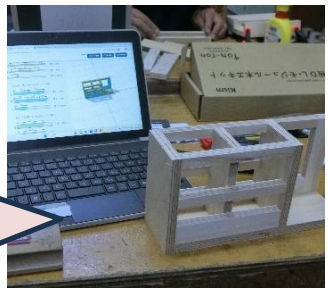
＜技術分野＞



①材料加工とデジタル製作の学習に向けて

材料と加工では、3D CAD を用いて作品を設計し、そのデータを基に合板 DL 材を加工して製作を行いました。3D CAD は完成形を立体的に確認でき、修正や変更も容易であるため、生徒の構想を支える有効なツールであることを体験しました。また、設計から製作までを一貫して体験することで、情報の技術を活用して「材料と加工の技術」の学習をより充実させる授業づくりについて学ぶことができました。

3D CAD を活用すると、完成後の形を立体的に確認しながら設計できるため、構想しやすくなります。また、設計内容の修正や変更が容易で、3D プリンターや AR（拡張現実）などの技術との連携も可能です。





②生成 AI 活用について



生成 AI の活用では、基礎・基本や仕組みを学び、生徒のアイデア発想や課題解決、文章作成、情報の整理など、さまざまな学習場面で活用できる可能性があります。研修では、その効果的な活用方法や留意点について理解を深めるとともに、生徒が生成 AI を適切に活用するための指導の在り方について考えました。

③各地区の研修について

県の伝達内容に加え、各地区の課題や次期学習指導要領の動向を踏まえ、新たに技術分野の学習に取り入れられていく内容の指導のポイントや製作活動の工夫について考える機会になりました。

安房



3D プリンターを活用したものづくり

君津



Bluetooth スピーカーの製作

市原



チャットボットのプログラミング

＜家庭分野＞

①持続可能な食生活 ～SDGsの観点も含めた食について～

持続可能な食生活では、フードロスや「食べる人」「つくる人」の責任といった SDGs の視点から、持続可能な食生活について学びました。日頃の食生活を振り返りながら、限りある食資源を大切に活用するためには何ができるのかを考える貴重な機会となりました。

併せて、家庭科の授業における食育や SDGs 学習にもつながる内容であり、生徒が身近な生活の中から持続可能な社会について考えるきっかけづくりに生かせるものとなりました。





余った野菜を活用した
ルチアーナ風ドレッシング漬け
大豆ミートのタコライス



②環境に配慮した衣生活 ～手縫いによるリメイク小物入れの製作～

環境に配慮した衣生活では、使わなくなった衣服や余った布を活用して小物入れを製作しました。今回は、家庭で不用になった布や着られなくなった衣服を材料として用い、限りある資源を有効活用する方法について考えながら製作に取り組みました。

製作を通して、「リメイク」とは単に古いものを新しいものに作り変えるだけでなく、これまで大切にしてきた衣服や布に込められた思い出や価値を受け継ぐことでもあることを学びました。

また、今回の製作はすべて手縫いで行われたため、まつり縫いやボタン付けなどの基礎的・基本的な技能を改めて確認する機会となり、授業における技能指導や、SDGs の視点を取り入れた学習活動について考える機会となりました。





手縫いによるリメイク小物入れの製作



③各地区の研修について

県からの伝達事項に加え、各地区の課題や深めたい内容を踏まえ、実際に製作や操作を体験することで、技能の向上や指導方法の工夫について理解を深めました。



布刺繍の手本作り



ファスナーを活用した製作自習



デジタル教科書の活用方法

各地区技術教育センターの研修は、技能の維持・向上を図るだけでなく、先生方が互いに学び合い、新たな知見を得ることのできる貴重な機会となっています。

技術・家庭科教育の推進を目的に研修内容の充実を図りながら、そこで得た学びを授業実践へとつなげ、生徒たちに還元できるよう取り組んでまいります。

今後とも、技術・家庭科実技研修会へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。